

富山連協たより

J P 労組富山連協退職者の会

発行責任者 中村 繁
編集責任者 東 秀雄

富山連協退職者の会「第6回定期総会」

2020年度活動計画(案)

〈2020年10月17日(土) 14時～ 於：富山県民会館〉

1. はじめに

(1) J P 労組富山連協退職者の会は結成から6年が経過しました。私たちは組織結成から今日まで、会員相互の親睦と交流を深めつつ退職者の会の会員増に努めてきました。

(2) 2019年度は恒例となっています「親睦旅行・秋の高山まつり」を10月9日から10日に企画実施し、2月1日は「新春の集い」を開催しました。また、2月15日には中央幹事会が提案している「組織慶弔金制度の見直し(案)に対する議論」を中心とした連協拡大幹事会を開催し現状の認識と見直しに向けた意見をまとめました。

(3) 2019年度の後半は、新型コロナウイルス感染症問題で「パークゴルフとバーベキュー」「秋の親睦旅行」は中止に、会員拡大活動は大きな成果を上げることができませんでした。

これらの課題は今年度も引き続き取り組むこととします。



2. 今後の活動

(1) 会員の拡大活動は普遍的な活動と捉え、連協・支部が一丸となって継続して取り組みます。具体的には、未加入の拡大については退職者の会が主体的に取り組みます。新たな退職者(定年・勸奨退職者、再雇用・期間雇用で働く組合員「協力会員」の退職者)の拡大については現退一体となった入会活動に取り組みます。

なお、現退一体の取り組みに向けて、連協・支部において現役の活動に退職者の会から、退職者の会活動に現役の代表者等が相互に参加することをいっそう推進するとともに、未加入の退職者名簿を作成しお互いに分析と声掛け分担等ができるような取り組みになるよう働きかけていきます。

- (2) 会員相互の親睦をはかることを目的とした「パークゴルフ」、「新春の集い」を継続開催し、あわせて地方退職者の会と連携して会員への情報提供などの活動を進めていきます。

3. 2020年度具体的な活動計画

J P 労組退職者の会設立の趣旨に沿って以下の通り2020年度の具体的な活動を提案いたします。

(1) 会員相互の「親睦と交流」

会員相互の「親睦と交流」に向けた活動として、パークゴルフおよび新春の集いを企画実践します。

パークゴルフは2021年6月に、新春の集いについては2022年1から2月に予定しています。詳細が決まり次第、会員のみなさんに開催案内をします。



(2) 会員拡大の取り組み

協力会員の退職者を重点に現退一体で取り組みます。

(3) 政治活動と「みらい研」の加入の取り組み

退職者にとって年金医療等の社会保障の声を政治の場へとどけるため政治活動が重要であり、J P 労組の理念に基づいて設立された「郵政未来研究会（みらい研）」への加入を20%目標とします。なお、年間会費1,000円です。

(4) 連協たよりの発行

北陸地方退職者の会と連携をとりながら「富山連協たより」を年4回発行し、会員への情報提供と会員相互のつながりに努めます。

(5) 富山県退職者連合との連携強化

富山県退職者連合との連携を強化し高齢者がかかえている諸課題の前進にむけて積極的にかかわっていくこととします。

(6) 各共済等の加入拡大の取り組み

退職者の会員が加入できるJ P 共済生協および㈱郵愛の各種商品については、安い掛け金で相互扶助精神であることを会員に周知し加入促進・継続加入の取り組みを強化します。

具体的には、連協・支部主催の行事開催時に商品説明会等の開催を行うことや連協たよりによる周知など積極的に取り組みます。

(7) 組織慶弔金制度の見直し対応

組織慶弔金制度は、全国的に2025年前後には喜寿のお祝い金支払いがピークになるなど現状維持が厳しいことから、あり方と見直しが提起され、2月の連協拡大幹事会で意見要望を取りまとめ、北陸地方から意見を中央に具申してきました。

中央幹事会は各地方からの要望を取りまとめて100円値上げ案を再検討していますが、北陸地方退職者の会は、①100円の値上げは反対。連協一般会費1,000円から100円を新設の慶弔安定化会計に組み入れる、②米寿お祝い金をお祝い品に置き換える、③早々に規定類の改定を行い2021年4月から実施する——との改正案で2020年12月4日開催の第6回全国総会に臨むことを了とします。